



見附市立見附小学校 学校だより

みしよ

No. 312

令和3年7月21日(水)発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141

<http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~misho/>

一学期が終わりました

校長 松井謙太

一学期が終わりました。子どもたちが元気に登校でき、概ね予定通りに各教育活動が進められました。保護者、地域の皆様のご理解ご協力に衷心より感謝申し上げます。

ウイルス禍は続いています。昨年度のような臨時休校はなく、そのため一学期の期間延長もありません。今年は二年ぶりにプール学習を行いました。ガイドラインに基づき、密を避けるため一クラスずつの実施となりましたが、級外職員がフルに参加して、泳力別の小グループに分けて行いましたので、待ち時間が少なく回転の速い練習ができました。監視をお願いした保護者ボランティアの方々におかれては、暑い中大変にありがとうございました。また、登下校の安全パトロール隊の皆様をはじめ、クラブ活動指導者の皆様、読み聞かせをはじめとした学校ボランティアの皆様方にも大変にお世話になりました。ありがとうございました。

このところ一気に暑さが厳しくなってきました。祝日の時期変更のため、例年より少し早めに夏休みを迎えられたことは、遠くから徒歩通学する児童がいることを考えるとありがたかったです。明日から夏休み。36日間です。安全で有意義な夏休みになることを願っています。

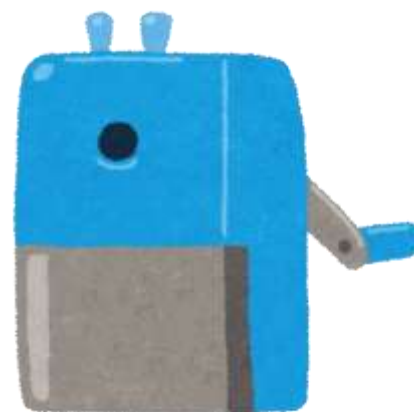
(以下、終業式校長講話より)

終業式は、その学期の勉強が終わった時にする式です。皆さん、「一学期が始まったころ」を覚えていますか。入学する一年生や新しく見小に来られたたくさんの方をお迎えした、そのころなのです。随分と前のように感じられますね。今年の四月は暖かく、桜の花が入学式にはしっかりと咲いていて、新入生を迎えてくれました。それから72日間。一日遅れで始まった一年生は71日間。草木が芽吹くさわやかな季節、雨の続くじめじめとした季節、そして強い日差しが降り注ぐ夏と季節は移り変わり、今日、一学期の終業式を迎えました。

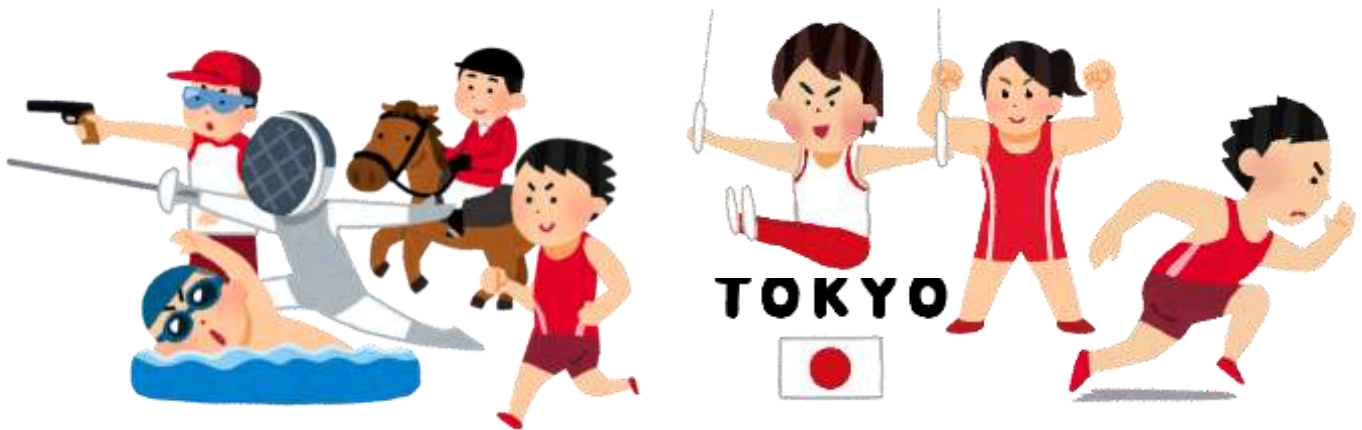
この間、ふるさと遠足や運動会などの行事、プール学習など心に残る思い出がたくさんあったことと思います。中でも先生やクラスの友達と一緒に毎日頑張った勉強で、皆さんの心も頭も体も大きく成長したことと思います。最近、まとめのテストやテスト直しの勉強を頑張っている人がたくさんいましたね。校長先生が子どものころやっていたテスト用紙は、表しか印刷されていないものが多かったです。そして、表のテストの見直しや確かめ算をした後は、テストの裏に好きな絵を描いていてもいいことになっていました。テストが終わってほっとした気持ちもあって、裏に絵を描く時間が好きでした。

皆さんもそうだと思いますが、勉強に欠かせなかったものが、「鉛筆」です。校長先生は、今はボールペンやシャープペンシルを使うことが多くなってきましたが、やはり鉛筆の木のぬくもりや、六角形の形が手にピタッとくるところがいいなあとと思っています。自分が小学一年生の時、担任の先生が「筆箱には削った鉛筆を三本入れてくるように」と言いましたので、家の人に買ってもらった手回しの鉛筆削りで、毎日削って持っていました。毎日少しずつ、だんだんと鉛筆は短くなっていきます。でも、その短くなった分だけ何だか頭がよくなったような気がしました。自分も友達も、鉛筆の端の方を小刀ですつと削って、そこに名前を書いていました。鉛筆削りの削りカスを時々捨てますよね。削られた木と鉛筆の芯の混ざったあのにおいを、私は「これが勉強のにおいなんだな」と感じていました。鉛筆は大切な勉強道具でした。

皆さんの筆箱の中を思い浮かべてください。鉛筆は何本入っているかな。勉強のために短くなった鉛筆。まだまだ頑張れる長い鉛筆もあるでしょう。今日は一学期の勉強最後の日です。鉛筆や消しゴムなど一つ一つをよく見て、「自



分の勉強を支えてくれて、ありがとう」と心の中で言ってみましょう。鉛筆はしゃべりませんが、どんな気持ちでいるのか持ち主の皆さんには分かるものと思います。



二つ目は、オリンピックの話です。先生が一年生の時がメキシコオリンピック。このころは家にテレビがあったと思うのですが、オリンピック放送を見た記憶がありません。しかし、新聞に載っている写真はよく見ていて、三宅兄弟が重量挙げの同じ種目で金メダルと銅メダルを取ったのを覚えています。そして、五年生の時がミュンヘンオリンピック。高学年になっていたこともあり、水泳やバレーボールなどテレビで試合観戦するようになりました。その頃は「スポ根」ブームで、テレビアニメもスポーツに打ち込む主人公を描いたものがたくさんあり、日本男子バレーチームが主人公だった「ミュンヘンへの道」などはオリンピックに挑戦する人そのものを取り上げたものでした。

ミュンヘンの時、校長先生はもう高学年になっていたのも、新聞のスポーツ欄の記事も読めて、スクラップブックを作っていました。そして、水泳でいくつもの金メダルを取ったマーク・スピッツ選手の記事を夢中になって集めたり、表彰台で人種差別に反対するパフォーマンスをした選手や、選手村でイスラエルの選手が襲われる事件の記事にふれ、どうしてなのかなと考えたり調べたりしました。

また、様々な国のチームが登場してくるので地図帳でその国の場所を調べました。「ミュンヘンって西ドイツにあるんだな。東ドイツというのもあるのか。なんで二つあるのかなあ。」「この前オリンピックをやったメキシコってここにあったのか。」……などと地図帳で調べました。皆さんにも茶の間に地図帳を置いておくとお勧めします。世界中から集まった人たちの大会なのだと考えただけで、ワクワクしていました。

今回の東京大会は、本来は去年の夏にやるはずだったものがウイルス感染を防ぐために一年延期になったのだというのを、皆さん知っていますか。低学年は分からないかな。こんな困難な状況の中で、世界中から人々が集まってきています。オリンピックは勝ち負けだけの大会ではありません。こんな努力をして、こんな思いをして自分を鍛えている人が世界中にいることを知り、私たちもそこからエネルギーを分けてもらえる大会だと思っています。

これでお話を終わります。鉛筆とオリンピックの話をしました。どうぞ皆さん、事故なく、楽しい夏休みにしてください。二学期の始業式に全校の皆で元気よく顔を合わせましょう。……(講話終わり)

志を高く、目標を明確にして、創意・工夫のある練習や準備が効果的なのは、なにも競技スポーツの世界に限ったことではありません。ぜひご家庭でも、児童の日常的な努力と結びつく可能性が十分にある同次元の話題として取りあげ、児童の向上意識を促していただきたいと思います。オリンピックは様々なことを考えさせてくれます。

- 目標をもって取り組むことのすばらしさ
- ドーピングのような事例から学ぶルール遵守の精神
- 難民選手団のような事例から学ぶ世界平和
- 世界中の選手が一堂に会しての競技＝異文化理解や外国人(特に在日外国人)に対する不当な差別意識の排除。
- 障害者が物理的な(心身の)障壁を乗り越えて練習し、出場する姿＝偏見・差別意識等のこころの障壁の排除。
- (特に今回は)感染症対策などの安全性や公平性、開催することの意義。

前期学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました

今回は、保護者アンケートを、Google フォームを使って実施しました。従来は用紙に記入して児童を通じて学校に提出していましたが、手元のスマホやパソコンから回答する方法に切り替えたのです。用紙への記入を希望する方には個別に用紙をお渡しすることにしました。約80%と、回収率は下がりましたが自動集計が可能となりました。ご回答いただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。

自由記述欄にも、たくさんのコメントや質問・意見を頂戴しました。2学期以降の改善につなげられるものは、夏休み中に関係職員で準備を進めていきたいと考えております。

なお、自由記述の中には、個別に学校から回答させていただきたい内容もありましたが、今年度はこちらの準備不足のため、どなたが書かれたものか特定できない形での集計となってしまいました。個別の回答をお求めの方は、恐れ入りますが教頭までご一報ください。

保護者アンケートの結果を経年比較したものを示します。数値変化に一喜一憂せず、評価の視点として持ち続けま
す。また、アンケートだけでなく複数の視点から評価していくことを引き続き心がけます。基本的に◎○△×の四点評価になっています。表内数字は%です。これは「速報」であり、学校評価だよりは改めてお届けします。アンケートは年2回(前期・後期)実施しており、以下の経年比較は各年度の前期アンケートの数値で比較してあります。



① 学校では適切な学習指導がなされていると思いますか。

	R1	R2	R3
十分評価できる	21.5	25.5	31.0
評価できる	73.3	71.6	64.7
あまりできない	4.4	2.7	4.3
評価できない	0.8	0.0	0.0

④ お子さんと学習のことについて話すことがありますか。(一緒に学習したり、進路の話をしたりを含む)

	R1	R2	R3
よくある	41.7	43.6	49.3
ときどきある	51.9	52.2	45.9
ほとんどない	5.2	3.8	4.3
ない	1.2	0.4	0.5

② 下記の中で学校に望むことを一つ選んでください。

	R1	R2	R3
各教科の充実	50.8	49.9	34.7
総合学習の充実	13.6	15.7	27.5
自主的学習態度	27.1	25.9	28.7
家庭学習の習慣化	3.1	3.5	5.3
読書の習慣化	5.4	5.0	3.8

⑤ お子さんは家庭で「おはよう」「おやすみ」の挨拶をしますか。

	R1	R2	R3
よくする	79.4	79.5	83.1
時々する	18.5	18.0	15.0
ほとんどしない	1.7	2.1	1.7
しない	0.4	0.4	0.5

③ 学校は児童の人間関係の問題に対して適切に対応していると思いますか。

	R1	R2	R3
大変適切	13.8	15.9	18.1
適切	72.4	75.2	76.1
あまり適切でない	12.3	7.7	5.3
適切ではない	1.6	1.2	0.5

⑥ 学校は地域の特色を生かした学校づくりを進めていると思いますか。

	R1	R2	R3
よく進めている	19.1	20.3	30.9
だいたい進めている	71.9	73.7	63.6
あまり思えない	8.6	5.0	5.0
思わない	0.4	1.0	0.5

ダイナムグループ社会貢献活動の受け入れについて

同社が実施している社会貢献活動として、光触媒コーティング薬剤の提供と塗布作業の申出(無償)が学校にありました。光触媒は酸化チタンを主成分としたコーティング材で、机やドアノブ等にスプレー塗布します。ここに太陽や蛍光灯の光が当たると触媒が反応し、酸化還元反応が発生し、菌・ウイルスを分解・無害化するものです。アルコール消毒以上の効果が、10年程度持続するという事です。

新技術で児童の安全を確保するとともに、毎日放課後に行っている職員の消毒作業の軽減が図ることができること、加えてこれまで他県の小学校で受け入れ実績があることから、見附小学校でもこの申し出を受け入れることになりました。また、見附小学校の場合、塗布作業を行う箇所が大変に多いため、職員総出の作業となることを見込まれます。保護者の皆様からもボランティアでお手伝いを頂けると大変にありがたいです。作業の期日等が決まりましたら、学校メールで改めてご連絡させていただきますので宜しくお願いいたします。

SDGsマーケットの『おさがり品』のご用意を

愛育会特別事業部が、今年度のメイン活動として取り組んでいるのがSDGsマーケットです。7月の先行回収では、200点程が集まりました。今後、個別懇談会(7月末~8月10日)の際にお持ちいただくことも可能です。詳しくは愛育会からのお便り「SDGsマーケット『おさがり』第一次正式募集のご案内」(令和3年7月21日付)をご覧ください。

学校の予定

【7月】

- 25日(日) 5年見附まつりパレード
- 28日(水) 4年防災スクール
- 29日(木) 個別懇談会①
- 30日(金) 個別懇談会②

【8月】

- 2日(月) 個別懇談会③
- 3日(火) 個別懇談会④
- 6日(金) 個別懇談会(2の1, 3の2)
- 10日(火) 個別懇談会(2の1, 3の2)
- 11日(水) ~17日(火) 学校閉庁日
- 27日(金) 2学期始業式 3限放課

【9月】

- 2日(木) 諸費口座振替日 委員会
- 3日(金) 学習参観 愛育会教育講演会 講師:高橋なんぐ様(ナマラエンターティメント)

『SNSメディアとの付き合い方』

- 8日(水)・9日(木) 5年自然教室
- 15日(水) 親善体育大会(6年)
- 17日(金) 親善体育大会予備日

【10月】

- 1日(金) 持久走記録会
- 2日(土) 愛育会SDGsマーケット
- 30日(土) 郷育フェスタ(音楽会)

